



K

- キープアライブの再試行 (2 ページ)
- キープアライブ ターゲット (4 ページ)
- キープアライブ タイムアウト (7 ページ)
- キープアライブ トリガー (9 ページ)

キープアライブの再試行



- (注) この製品のマニュアルセットは、バイアスフリーの言語を使用するように努めています。このマニュアルセットの目的上、バイアスフリーとは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、および交差性に基づく差別を意味しない言語として定義されます。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスでハードコードされている言語、RFP ドキュメントに基づいて使用される言語、または参照されているサードパーティ製品で使用される言語により、ドキュメントに例外が存在する場合があります。

Skinny Client Control Protocol (SCCP) から Cisco Unified CallManager へのキープアライブの再試行回数を設定するには、SCCP Cisco CallManager で **keepalive再試行** コマンドを使用します。この番号をデフォルト値にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

keepalive リトライ *number*
 いいえ **keepalive再試行**

構文の説明

数 キープアライブの試行回数。 値の範囲は 1 ～ 32 です。デフォルトは 3 です。

コマンド デフォルト

3 回のキープアライブ試行

コマンド モード

SCCP Cisco CallManager の設定

コマンド履歴

リリース	変更
12.3(8)T	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE Amsterdam 17.2.1r	Yang モデルのサポートを導入しました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、Cisco Unified CallManager リンクがダウンしていることを SCCP が確認するまでのキープアライブの再試行回数を制御します。SCCP が Cisco Unified CallManager リンクがダウンしていることを確認すると (Ack を受信せずに送信されたキープアライブメッセージの数がキープアライブの再試行の値に達した場合)、Cisco Unified CallManager のスイッチオーバーが開始されます。



- (注) このコマンドの最適な設定は、プラットフォームおよび個々のネットワークの特性によって異なります。キープアライブの再試行回数は必要に応じて調整してください。

例

次の例では、Cisco Unified CallManager がリンクのダウンを確認するまでのリトライ回数を 7 回に設定します。

ルーター(conf-sccp-ccm) #キープアライブ再試行 7

関連コマンド

コマンド	説明
keepalivetimeout	SCCP から Cisco Unified CallManager へのキープアライブメッセージの間隔を設定します。
Sccpccmgroup	Cisco CallManager グループを作成し、SCCP Cisco CallManager 構成モードを開始します。

キープアライブターゲット

SIP ゲートウェイからキープアライブパケットを受信する Session Initiation Protocol (SIP) サーバを識別するには、SIP ユーザエージェント構成モードで **keepalivetarget** コマンドを使用します。**keepalivetarget** コマンドの動作を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

キープアライブ ターゲット { { **IPv4**:アドレス | **IPv6**:アドレス } [:ポート] | **DNS**:ホスト } |
[**TCP**[tls]] | [**udp**] | [**セカンダリ**]
いいえキープアライブターゲット[**セカンダリ**]

構文の説明

ipv4 :アドレス	監視するプライマリまたはセカンダリ SIP サーバの IP アドレス (IP バージョン 4 形式) です。
ipv6 :address	監視するプライマリまたはセカンダリ SIP サーバの IPv6 アドレス。
:port	オプションポート番号 デフォルトの SIP ポート番号は 5060 です。
dns :ホスト名	監視するプライマリまたはセカンダリ SIP サーバの DNS ホスト名。
TCP	(オプション) TCP でキープアライブ パケットを送信します。
tls	(オプション) Transport Layer Security (TLS) でキープアライブ パケットを送信します。
udp	(オプション) User Datagram Protocol (UDP) でキープアライブ パケットを送信します。
セカンダリ	(オプション) 監視するセカンダリ SIP サーバに IP バージョン 4 アドレスまたはドメインネームシステム (DNS) ホスト名を関連付けます。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、キープアライブは SIP ゲートウェイから SIP ゲートウェイに送信されます。SIP ポート番号はデフォルトで 5060 です。

コマンド モード

SIP ユーザエージェント構成 (config-sip-ua)

コマンド履歴

リリース	変更
12.4(6)T	このコマンドが導入されました。
12.4(22)T	IPv6 のサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

プライマリまたはセカンダリ SIP サーバアドレスの形式は **dns:example.sip.com** または **ipv4:172.16.0.10** です。

例

次の例では、プライマリ SIP サーバアドレスを設定し、デフォルトを UDP トランスポートに設定します。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10
```

次の例では、プライマリ SIP サーバアドレスとトランスポートを UDP に設定します。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 udp
```

次の例では、プライマリとセカンダリの両方の SIP サーバアドレスと、トランスポートを UDP に設定します。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 udp
  keepalive target ipv4:172.16.0.20 udp secondary
```

次の例では、プライマリとセカンダリの両方の SIP サーバアドレスを設定し、UDP トランスポートをデフォルトにします。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10
  keepalive target ipv4:172.16.0.20 secondary
```

次の例では、プライマリ SIP サーバアドレスとトランスポートを TCP に設定します。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 tcp
```

次の例では、プライマリとセカンダリの両方の SIP サーバアドレス、およびトランスポートを TCP に設定します。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 tcp
  keepalive target ipv4:172.16.0.20 tcp secondary
```

次の例では、プライマリ SIP サーバアドレスとトランスポートを TCP に設定し、セキュリティを TLS モードに設定しています。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 tcp tls
```

次の例では、プライマリとセカンダリの両方の SIP サーバアドレスとトランスポートを TCP に設定し、セキュリティを TLS モードに設定しています。

```
sip-ua
  keepalive target ipv4:172.16.0.10 tcp tls
  keepalive target ipv4:172.16.0.20 tcp tls secondary
```

関連コマンド

コマンド	説明
busyoutmonitorkeepalive	キープアライブ障害の場合にビジーアウトされる音声ポートを選択します。
キープアライブトリガー	ダウン状態の音声ポートをビジー状態から解除するためには、SIP サーバからの応答を連続して受信するオプションメッセージ要求の数をトリガーカウントに設定します。
キープアライブを再試行する	再送信のキープアライブ リトライ回数を設定します。
タイマーキープアライブ	SIPサーバがアクティブまたはダウンの場合に、オプションメッセージ要求を送信するタイマーキープアライブ間隔を設定します。

キープアライブ タイムアウト

SCCP (Skyny Client Control Protocol) から Cisco Unified CallManager へのキープアライブメッセージの間隔を設定するには、SCCP Cisco CallManager 構成モードで **keepalive timeout** コマンドを使用します。時間をデフォルト値にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

キープアライブタイムアウト秒
いいえキープアライブタイムアウト

構文の説明

秒 キープアライブ メッセージ間の時間。値の範囲は 1 ～ 180 です。デフォルトは 30 です。

コマンド デフォルト

30 秒

コマンド モード

SCCP Cisco CallManager の設定

コマンド履歴

リリース	変更
12.3(8)T	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE Amsterdam 17.2.1r	YANG モデルのサポートを導入しました。

使用上のガイドライン

SCCP はキープアライブ メッセージを Cisco Unified CallManager に送信するたびに、このタイマーを開始します。タイムアウトが発生すると、キープアライブ (Ack のないメッセージ) の数が **キープアライブ再試行** コマンドで設定された数に達していない限り、次のキープアライブメッセージを送信します。現在のところ、SCCP プロトコルは Cisco Unified CallManager が提供する値を使用します。



- (注) このコマンドの最適な設定は、プラットフォームおよび個々のネットワークの特性によって異なります。必要に応じてキープアライブ タイムアウト値を調整します。

例

次の例では、Cisco Unified CallManager キープアライブメッセージ間の間隔を 120 秒 (2 分) に設定します。

```
Router(config-sccp-ccm)# キープアライブタイムアウト120
```

関連コマンド

コマンド	説明
キープアライブの再試行	SCCP から Cisco Unified CallManager へのキープアライブの再試行回数を設定します。

コマンド	説明
SCCPccmgroup	Cisco CallManager グループを作成し、SCCP Cisco CallManager 構成モードを開始します。

キープアライブトリガー

トリガーカウントは、音声ポートの使用を解除するために、ダウン状態の SIP サーバから連続して応答を受信する必要があるオプションメッセージ要求の数を表します。 **keepalive trigger** コマンドを SIP ユーザーエージェント設定モードで使用します。既定値の 3 秒に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

キープアライブトリガーカウント
いいえキープアライブトリガーカウント

構文の説明	カウン ト	1 から 10 の範囲の Keepalive トリガー値。デフォルト値は 3 です。
-------	----------	--

コマンド デフォルト Keepalive トリガーのデフォルト値は 3 です。

コマンド モード SIP ユーザーエージェントの構成

コマンド履歴	リリー ス	変更
	12.4(6)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ダウン状態の音声ポートをビジー状態解除するために、SIP サーバからの応答を連続して受信する必要があるオプションメッセージ要求の数を表すカウントを設定します。デフォルトは 3 です。

例 次の例では、ダウン状態の音声ポートをビジー解除するために、SIP サーバからの応答を連続して受信する必要がある Options メッセージ要求の数に達した後の時間間隔を設定します。次の例では、トリガー間隔は 8 に設定されています。

```
sip-ua
keepalive trigger 8
```

関連コマンド	コマンド	説明
	busyoutmonitorkeepalive	キープアライブ障害の場合にビジーアウトされる音声ポートを選択します。
	キープアライブターゲット	SIP ゲートウェイからキープアライブ パケットを受信する SIP サーバを指定します。
	retrykeepalive	再送信のリトライ キープアライブを設定します。

コマンド	説明
timerskeepalive	SIP サーバがアクティブまたはダウンの場合に、オプションメッセージ要求を送信する時間間隔を設定します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。